

令和2年（2020）度金沢工業会理事会・評議員会の報告

金沢工業会の理事会と評議員会は例年5月に開催しておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今年度は対面開催を取り止め、令和2年5月13日（水）～5月28日（土）の期間において、書面附議によるメール審議での開催とさせていただきました。理事・評議員の合計74名から回答があり、以下の審議結果となりましたので、ご報告申し上げます。

1. 審議事項

第1号議案 令和元年度事業報告

●主な内容

令和2年度の事業について説明があり、計画通り実施されたことが報告された。

●承認74名、不承認0名

●ご意見：なし

第2号議案 令和元年度決算報告および監査報告

●主な内容

前年度と比較して、赤字額が1,424,567円増加した決算となった。この原因として、
（1）令和元年度の全国総会を会員数が2番目に多い東京支部で開催する年となったため、総会開催費が1,186,872円になり、約113万円の支出増となったこと、（2）特別な経費として、「工学部100周年記念事業」の寄附依頼書の印刷費および郵送費用（447,336円）、および事務局のパソコンの購入費（256,960円）の支出があったこと、
（3）会費督促状の発送費が、郵便料金の値上げ、および工学部100周年記念事業への寄附のお願いと会費納入のお願いの時期が重なったことなどにより、昨年度よりも434,268円増加したこと、などが報告された。監事の深見哲男氏（電気昭53）ならびに山本晋平氏（工化昭57）から令和元年度の決算について適性に会計処理されている旨の監査報告があった。

●承認74名、不承認0名

●ご意見：

- ・来年度以降、健全な財政運営に努められることを要望します。
- ・赤字拡大は残念ですが、当座の対応として、基本金会計から繰り入れる等して、リセットし、単年度での事業の内容をより把握しやすい様にできればと思います。
- ・金融機関毎の預金合計額（普通預金＋定期預金）を1千万円以下に抑えるべきではないか。

第3号議案 令和2・3年度の会長および副会長の選出

●承認74名、不承認0名

●会 長：伊藤 寛治 氏（土木昭49） 飛島建設株式会社 特別顧問

副会長：森本 章治 氏（電子昭54） 金沢大学理工研究域長

が選出されました。

●ご意見：

- ・伊藤会長、森本副会長の新体制で、100周年記念行事の無事完遂、改革による活性化を期待します。
- ・加納会長お疲れ様でした。ありがとうございます。伊藤会長、新役員の方々、コロナ禍の中であって、新しい次の100年に向けて、宜しくお祈りします。

第4号議案 令和2年度事業計画案

●主な内容

令和2年度事業計画は、これまでの事業を継続するとともに、卒業生との連絡の手段として電子メールの活用を一層促進することとし、そのための環境整備と段階的な実施を引き続き進めることになった。2018年度から卒業学生のメールアドレスの収集を行っているが、毎年10月頃にメールアドレスの確認と勤務地の確定に伴う住所確認の作業を実施する予定である。

●承認 74 名、不承認 0 名

●ご意見：

- ・新型コロナウイルスで支部総会の開催も延期がよいと考えます。
- ・コロナ禍で運営にもいろいろとご苦勞されておられると察します。100周年記念事業、秋の支部総会が開催されることを祈念します。
- ・資料にも記載あり、過去の理事会・評議委員会でも話題の Facebook 等での金沢工業会の情報発信の検討をよろしくお願ひします。茨城支部も Facebook 開設しました。投稿はまだ少ないですが。
- ・在校生に対するコロナ対応（給付金や自宅ネット環境整備補助など）を講じては如何かと考えます。

第5号議案 令和2年度予算案

●主な内容

令和2年度予算案は例年通りの事業を実施しながら、かつ、節減可能な支出をできるだけ抑えた予算案になっている。会費納入率を現状に合わせ 18%とし、収入をより厳密に見積もっている。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、理事会および評議員会の対面での開催を取り止め、書面附議による審議とするため、これに伴う旅費・懇親会費を削減している。また、全国総会および支部総会の開催費の改定を適用した。経済状況の悪化により会費納入率の低下の可能性も予想され、必要な事業に支出し、無駄を無くす努力を継続する必要があると考えている。

●承認 74 名、不承認 0 名

●ご意見：

- ・赤字体質から脱却する予算運営を期待します。
- ・新型コロナウイルス対応、適切と考えます。
- ・承認とさせていただきますが、やはり「事業費 1) 会誌発行」が突出していると考えます。こちら、今年度は「★特例的に」発行部数を減らす（もしくは完全 web 配信で発行しない）事により、上記の第4号・意見に記しました在校生のケアに予算を使う事を検討しては如何でしょうか。また、「4)-4 の卒業記念品」(+新会員へのボールペン配布)についても、コロナ禍により叫ばれる「ハンコレス社会の検討」の情勢に併せて、廃止を検討しては如何でしょうか。

第6号議案 会則の改定について

●主な内容

新設された大学院である「新学術創成研究科」に所属する大学院生に対応するため、準会員に関する規定を改定する。

●承認 74 名、不承認 0 名

●ご意見：なし

自由記述欄

- ・新型コロナウイルス感染症の感染がおさまり、100周年記念事業が対面が無事に実施できるよう、お祈りします。
- ・事務局のみなさま理事評議会の皆様大変お世話になっております。新型コロナウイルスの終息後の対応シナリオをいくつか想定すべきかと考えます。
- ・新型コロナウイルス問題で先行きが見通せない社会状況の中、理事の皆様には事業遂行に大変ご苦勞なさっていることと拝察致します。皆様のご健勝を祈念し、ご苦勞に深謝申し上げます。
- ・致し方ないとは言えど、100周年記念事業が秋に無事開催できることを祈念します。
- ・来年度は、金沢での評議員会の開催を期待しています。
- ・コロナ禍の中にあって、顔を合わせての開催ができず、残念でしたが、また、お会いできるのを楽しみにしております。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。
- ・すでに記憶と歴史に残る100周年となっていると思いますが、今後の行事が無事開催され、良い記憶と歴史になることを祈っております。また、ご協力させていただきたいと思っております。
- ・お疲れ様です。多くの方々に理事を経験していただきたいことから、理事は今期限りとさせていただきたいと考えています。
- ・今年秋の全国総会と石川支部総会の日程が重なっていますがもし開催される場合は、スケジュール的に可能なのでしょうか？本年の総会が予定通り開催されるとなると隔年開催の金沢機友会総会の開催も石川支部総会の前に同じ場所で開催する予定となります。全国総会の日時スケジュールをご教示願えると助かります。
- ・理事長千木昌人様はじめ、執行部の皆様、ご苦勞様です。
- ・工学部100周年記念事業に寄付いたしました。記念式典は新型コロナウイルス対応で開催時期など難しいと思いますが、各種調整頂き、早めのアナウンスをよろしくお願い致します。
- ・3月下旬に開催された学内理事会で学生（準会員）からの会費徴収の必要性について意見が述べられたが、新型コロナウイルスの影響で家計のひっ迫や学生のアルバイトが困難な状況もあることから、学生からの会費徴収は行わない方が良いのではないかと。
- ・在校生に対するコロナ対応（給付金や自宅ネット環境整備補助（ex. パケット有限のSIMを希望者に配布）など）を講じては如何かと考えます。こちら、会誌発行については多様な御意見があるかと推察されますが、在校生に対するケアについては、OB会員からの御賛同のみならず、今後の会員数増に向けた一助になるかと考えます。「同窓の繋がり」に対する意識が希薄な学生には、「直接的なケア」の方が入会に対する意識を高められるかと思っております。

2. 報告事項

(1) 工学部創立100周年記念行事について

金沢大学工学部（現理工学域）の創立100周年記念事業の概要説明があった。記念事業の寄附金への申込状況の中間報告があり、令和2年4月30日現在で12,161,268円（665名）の寄附金が寄せられたことが報告された。また、記念式典・記念講演会・記念祝賀会については、新型コロナウイルス感染が都市部を中心に拡大しており、未だ終息が見通せない状況のため、当初の5月30日開催を取り止め、今年の秋以降に改めて開催することに決定したことが報告された。

3. おわりに

皆様からいただいた貴重なご意見等は今後の金沢工業会の運営等の検討の参考とさせていただきます。ありがとうございました。なお、工学部創立 100 周年記念式典等の開催時期ですが、新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言が解除された一方で、未だ終息には至っていない状況にあり、第2波、第3波の到来も危惧されています。そのため、執行部では今秋以降の開催予定ということで、来年開催の可能性も視野に入れていきます。詳細が決まり次第、皆様にお知らせいたします。

以上、簡単な報告になりますが、今後ともご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

庶務理事：多田 記

◎評議員会の書面附議で配付されました資料（令和2年度事業報告、会計報告、並びに令和年度の事業計画と予算案を含む）は金沢工業会の Web ページに掲載してございますので、ご覧ください。ただし、金沢工業会誌（令和2年4月号、No. 192）PDF 版のパスワードが必要です（パスワードは会誌 No. 192 に掲載してあります）。